

2023年8月7日

とうほう次世代経営者倶楽部 浪江町視察研修会の開催について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、次世代を担う経営者、後継者の皆さまを対象に、「浪江町視察研修会」を開催いたしますのでお知らせします。

本研修会は、浪江町の現状および福島国際研究教育機構（F-R E I）の内容について理解を深めるとともに、水素研究施設や進出企業の工場等の見学を通して、当地における新たな事業展開を考えるきっかけの場を提供することを目的としています。

当行では、引き続き、お客さまのニーズを捉えた情報・サービスの提供に努め、地域経済の発展に貢献してまいります。

記

1. 開催概要 詳細は別紙「開催案内」をご参照ください。

開催日時	2023年9月14日（木） 8：30～19：00
対象者	とうほう次世代経営者倶楽部（注1）会員 浜通りの復興状況、水素の利活用や当地での新事業に関心のあるお客さま
内 容 （ 予 定 ）	8：30 郡山駅西口 発 ※全行程バスで移動。 10：30～ 浪江町役場（浪江町の現状、F-R E Iについて） 11：40～ 昼食休憩 於：道の駅「なみえ」 13：00～ 福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R） 14：15～ ㈱バイオマスレジン福島 浪江工場 15：30～ 請戸小学校（震災遺構）見学 16：00～ 會澤高圧コンクリート㈱ 福島RDMセンター 19：00 郡山駅西口 着・解散
定 員	25名（先着順）
参加費	無料
お申込方法	当行本支店にてお申し込みください。
お申込期限	2023年9月8日（金）

注1：とうほう次世代経営者倶楽部
次世代の経営者、後継者の皆さまの経営に関する幅広い知識獲得のサポートおよび人脈づくりの場を提供するために2013年3月に設立。

2. 関連するSDGs



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以 上

とうほう次世代経営者倶楽部 浪江町視察研修会

参加無料
定員 25名
(先着順)



日時

2023年

9月14日(木) 8:15~19:00 (郡山駅西口集合)

対象

とうほう次世代経営者倶楽部 会員

その他、浜通りの復興状況、水素の利活用や当地での新事業に関心のあるお客さま

内容

(予定)

2023年4月、
福島国際研究教育
機構 (F-REI) が
設立しました！

福島復興の最先端
を知る大変貴重な
機会です！

8:15	郡山駅西口 集合
8:30	郡山駅西口 発
10:30~11:30	浪江町役場 (浪江町の現状、F-REIについて)
11:40~12:40	昼食休憩 於：道の駅「なみえ」
13:00~14:00	福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)
14:15~15:15	(株)バイオマスレジン福島 浪江工場
15:30~15:50	請戸小学校 (震災遺構) 見学
16:00~17:00	會澤高圧コンクリート(株) 福島RDMセンター
17:00	浪江町 発
19:00	郡山駅西口 着・解散



※全行程バスで移動します。

* 参加費は無料ですが、集合場所までの交通費等は自己負担となりますので、ご注意ください。

* 本研修会のプログラムは、現地との調整状況等により、一部変更となる場合がございます。



すべてを地域のために

東邦銀行

浪江町の復興状況／視察先のご紹介

浪江町の復興理念・基本方針

《復興の理念》

夢と希望があふれ
住んでいたいまち 住んでみたいまち
～なかよく みんな えがおの 花咲くまち なみえ～

《復興の基本方針》

I 夢と希望のある産業と仕事づくり

II 未来を担う人づくり

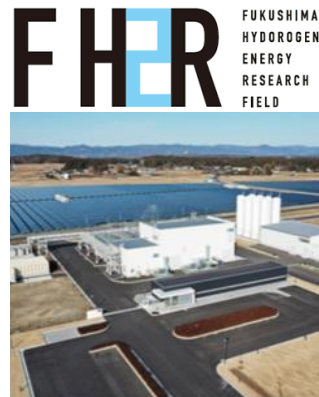
III 帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり

IV 健康と福祉のまちづくり

V 絆の維持と持続可能なまちづくり

福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）

世界最大級となる1万kWの水素製造装置を備える水素エネルギー研究施設。再生可能エネルギーの導入拡大を見据えた、電力システムの需給バランス調整のための水素活用事業モデル及び水素販売事業モデルの確立を目指している。2020年2月に開所。



福島国際研究教育機構（F-REI）とは

福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力・産業競争力の強化に貢献する、世界に冠たる「創造的復興」の中核拠点として2023年4月に設立。

福島イノベーション・コースト構想の取組により整備された拠点間の連携促進など、構想の更なる発展に寄与する役割が期待されている。

福島国際研究教育機構 F-REI

出典：なみえ復興レポート（令和5年7月）

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

F-REI(エフレイ)とは

主な研究内容

- ◆福島国際研究教育機構(Fukushima Institute for Research, Education and Innovation 略称:F-REI)は、福島復興再生特別措置法に基づく特別の法人として国が設立する研究教育機関です。
- ◆理事長のリーダーシップの下で、F-REIの持つ研究開発・産業化・人材育成・司令塔の4つの機能を発揮するための取組を一体的に推進します。

研究開発

- ・福島での研究開発に優位性がある下記5分野で、被災地や世界の課題解決に資する国内外に誇れる研究開発を推進

産業化

- ・産学連携体制の構築
- ・実証フィールドの積極的な活用
- ・戦略的な知的財産マネジメント

人材育成

- ・大学院生等
- ・地域の未来を担う若者世代
- ・企業の専門人材等に対する人材育成

司令塔

- ・既存施設等に横串を刺す協議会
- ・研究の加速や総合調整のため、一部既存施設・既存予算を機構へ統合・集約



ロボット

廃炉作業の着実な推進を支え、災害現場等の過酷環境下や人手不足の産業現場等でも対応が可能となるよう、ロボット等の研究開発を行います。



農林水産業

スマート農業やカーボンニュートラル等を通じた地域循環型経済モデルの構築を目指し、超省力・低コストな持続性の高い農林水産業に向けた実証研究等を行います。



エネルギー

福島を世界におけるカーボンニュートラル先駆けの地とするため、水素エネルギーネットワークの構築や、ネガティブエミッション技術の研究開発等を進めます。



放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用

オールジャパンの研究推進体制の構築と放射線科学に関する基礎基礎研究やR1の先進的な医療利用・創薬技術開発及び超大型X線CT装置等を中心とした技術開発による放射線の産業利用を実現します。



原子力災害に関するデータや知見の集積・発信

自然科学と社会科学の研究成果等の融合を図り、原子力災害からの環境回復、原子力災害に対する備えとしての国際貢献、更には風評払拭等にも貢献します。また、F-REIを核とした復興まちづくりの効果検証研究を実施し、活力ある地域づくりにつなげます。

お申込み締切日 2023年9月8日（金）

誠に勝手ながら定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込みください。

お問合せ・お申込先

当行本支店までご照会ください。



すべてを地域のために

東邦銀行